

# 日本女性学研究会 40 周年記念 Year～2017～

12月9日・女性学・ジェンダーフォーラム in 2017

## わたしと「女の運動」これまで、そしてこれから

＜その内容のちょっと詳しいご案内＞

### ① 11～13 時 〈2つの分科会からの発表〉

#### ◆近代女性史分科会（発表者：松田祐子）

##### ■テーマ：女性の職業のパイオニア

—フランス第三共和政前半（19世紀末～20世紀初頭）の女性小学校教師—

■ フランスの女性たちは、1880年代に、女性には閉ざされていた専門職に就き始める。なかでも最も多くの女性が選択し、議論の多かった専門職は、小学校教師の職であった。共和制政府によって制定された「無償・義務・世俗」を根幹とする公教育制度のもと、女性教師の養成が急ピッチですすみ、それまでは修道女が担っていた女子初等教育の教師の職は、世俗の女性教師に置き換えられた。彼女たちは国家公務員として、さまざまな困難や批判にさらされながらも、今日に続く働く女性のパイオニアとして職業活動を切り開いていった。

#### ◆ジェンダーと制度研究会（発表者：参加したことのある人全員）

##### ■テーマ：ジェンダーと制度研究会のこれまで(仮題)

■ これまでの「ジェンダーと制度研究会」の活動についてお話しさせていただきます。資料として、メンバーが協力して作成した、分科会創設以来の活動の記録や活動の背景としての制度・政策の変遷について書いたものも配布して、それらを踏まえてお話しする予定です。

※ 13～14 時 休憩（各自で昼食をとったりおしゃべりしたり…）

### ② 14～17 時 〈話題提供とディスカッション〉

##### ■テーマ：女性と政治（報告：大橋涼子）

■ ジェンダーギャップの世界ランキングは、さらに後退して 114 位に。教育・健康・経済の分野では順位が上がったものの、政治分野の立ち遅れは特に著しい。生活と政治、政治と選挙の乖離の中に女性の問題が交差する。女性が意思決定の場で一定の数を確保するとはどういうことなのか。それはなぜ実現しないのか。阻むものは何なのか。女性を議会に送る運動を始めて 20 年が経過した。微増はしても大きく景色を変えることができない現実を受けとめながら、その必要性について共有したいと思う。

## ■テーマ：女性と社会保障/福祉～わたフェミ的アプローチ（報告：松本澄子）

■ このとてつもなく大きなテーマにおいて、「わたしからフェミニズム」的アプローチを試みる（しかない）。まず年金のこと。わたしは35年ほど働き続けているが、老齢厚生年金はスズメの涙。女性の生涯賃金の低さは年金の低さに直結する。次に子育て。障害のある子の子育てとフェミ的自己実現の両立の難しさ。フルタイムは困難、切り貼りの非正規就労。そして「親の会」での活動。発達障害とジェンダーの問題。さらに今の仕事から、いちソーシャルワーカーとして、障がいや介護の福祉の現場や「貧困」の連鎖などの課題について話したい。

## ■テーマ：今後の『女性学年報』の展望と課題（報告：遠山日出也）

■ 『女性学年報』の意義と現在直面している困難を踏まえつつ、今後の『女性学年報』のあり方について、その内容と刊行形態の2つの面から考え、私なりの提案もさせていただきます。それらを当日の議論のたたき台にさせていただければうれしく思います。また、現状では、来年、編集委員になっていただけそうな方がまだまだ少ないので、編集委員もただいま大募集中です！カンパもお願いいたします！

## ■テーマ：女同士の関係（報告：荒木菜穂）

■ ジャッジメンタルなトークがない、話したくないことは話さなくてもよい場である日本女性学研究会を居場所と感じ十数年が経った。本会の直接民主主義、口を出す人は手も出す、の基本原則はフラットな関係を維持する意味で素晴らしいが、しかし実際には、誰もがいつでも積極的な発言ができるとは限らない、一部の動ける人に実務の負担が偏るなど、問題もある。女性の置かれている立場も様々である今、ジェンダーにとらわれず対等な立場で女性学を行っていく意義や困難について考えていきたい。

## ■テーマ：WSSJ 40年の総括と課題（報告：上野千鶴子）

■ 40年の総括と課題。これまでの報告を踏まえつつ。

## ◆このあと、参加者とのディスカッション

### ③ 17:30～19:30 〈懇親会・交流会〉※飲食付き

■ 私たちの「気づき」の経験から40年。フェミ的な視点は「ふつう」になったのか？フェミニズムは嫌われたままなのか？男女共同参画や多様性と女性学との関係は？会員の方も元会員の方もそれ以外の方も、いろいろ気になること、40年分のおしゃべりを！

■ この日、記念冊子のプロジェクトチームを発足し、約1年を掛けて、『女性学七転八倒』（10周年記念誌）、『わたしからフェミニズム』（20周年記念誌）に続く、40周年記念誌を作る予定です。プロジェクトメンバーを大募集！！